

フェレットの病気

マギー・オライリーは残念なことに先週（訳注：2012年5月）フェレットを1匹亡くし、大変悲しい思いをしました。

亡くなった子はとても可愛らしい男の子だったそうです。でも、ひどい状況の中から何か良いことが生まれることがあり、マギーは経験から学んだ教訓をすべて書き留めて、私（訳注：Ferret-World.comのステファニーさん）にこの素晴らしいコミュニティとシェアするよう言ってくれました。「フェレット健康月間（訳注：Ferret-World.comが2012年5月いっぱい行った啓発活動）」にとってもふさわしいですね。皆さんには他の飼い主さんが心に留めておくべきだと思うような教訓がありますか？

わたしが先月学んだこと

1. 本や記事にフェレットが病気になると坂道を転がり落ちるように早いと書いてありますが、本当に**早い**のです。
2. 病気のフェレットは飼い主が好きで飼い主に愛されていて、最高の治療を受けていても生きる意欲を失うことがあります。
3. フェレットによい治療を受けさせるには本当に**お金がかかります**。分かりやすく言うと、私たちは3週間の病気で500ポンドほどかかりました（訳注：2016/01/16現在のレートでは1ポンド＝約176円で88000円くらい）。この調子でいけば、支払いを引いた可処分所得は月100ポンドくらいになってしまいます。私たちは、あの子の治療に妥協できないので1枚目のクレジットカードを取り出しました（文句を言っているのではありません。明日にだってまた同じことをするでしょう。ただ、そういう事態に備えて貯金しておくべきでした）。
4. 病気になってしまった時のために、フェレットが何らかの栄養のある液体フードを受け付けることが必ず必要です。これを読んで「ああ、いい考えだな。いつかやってみよう」では**駄目**です。必ずやって下さい。フェレットの命は事実上これにかかっていることがあるのです。
5. フェレットに液体フードをすぐに与える手段を必ず手元に用意して下さい（1.を参照）。近くの薬局に行って、1ml、5ml、10mlの注射器（シリンジ）を2個ずつ買い、フェレットの応急処置キットに備えておくことをお勧めします。値段も張りませんし、あってはならないことですが、もしフェレットの具合が悪くなった時にパニックになったり心配したりすることを防いでくれます。錠剤投薬器（ピルポッパー）も砕くことができない薬を与えるのに良い方法です。

6. フェレットの体重を定期的に量り（例えば1ヶ月に1回）、記録を付けるのは大切なことです。私たちはそれをしていたので、獣医は比較する基準が分かり、フェレットの体重がどれだけ早く落ちているかを判断し、そして水分補給に必要な輸液を処方することができました。

7. フェレットについてよく知って下さい。人、本、HPから得られる物は何でも学んで下さい。普通の獣医はすべての動物について知りませんし、また知ることが出来ません。そう求めることは理不尽です。飼い主は2、3の可能性を心に留めておくべきです。獣医には礼儀正しく思いやりを持ち、でも積極的になって下さい。獣医の提案は受け入れても、何か直感や恐れ、心配がある場合は、口に出して言って下さい。あなたはフェレットのたった1人の代弁者です。フェレットが苦しんでいたたり、元気がなかったりする場合は獣医に伝えて下さい。腹痛、股関節痛、咽喉痛……思い当たったら獣医に伝えて下さい。

8. 獣医に緊急の電話をかける時、取り乱して予約をするとフェレットも助かりません。まず言いたいことを紙に書き出しましょう。頭の中で何回繰り返そうと、それだけでは言葉になって出てきません。

9. 初めて飼ってとても可愛がっていた、まだとても若いフェレットを亡くすことは、経験したことのないつらさでした。自分の感情にとっても驚いたものです。今はもう大丈夫ですが、最初の2日はただただ苦しかったです。

マーリー、天国でクククク跳ねるんだよ:(

(訳注: 安らかに=R.I.P=Rest in peace のもじりで、海外の飼い主さんはD.I.P=Dook in peaceと言います。"Dook"はフェレットのクククッという鳴き声)

マギー、この話をシェアしてくれてありがとうございました。

(翻訳・文責: 吉田博子)